

第1部  
講演会

猪熊弘子氏

日本の保育制度、待機児童問題、保育事故などについて20年以上にわたり取材・執筆・翻訳。『死を招いた保育』（ひとなる書房）で第49回日本保育学会「日私幼賞・保育学文献賞」受賞。一般社団法人 子ども安全計画研究所代表理事。



第2部  
座談会

庄司洋子氏 × 松井明子氏

立教大学社会学部教授、同大ジェンダーフォーラム所長などを歴任。現在は名誉教授（福祉社会学・家族社会学）。NPO法人「学生支援ハウスようこそ」理事長。

立教大学文学部卒業後、立教大学に入職し、就職部、図書館を経て学生部に配属。2006年より7年間、新座キャンパス事務部長を務めた。キャリアセンターを経て、2017年3月定年退職。

2018年 12/22 (土)

14:00~17:00

立教大学  
池袋キャンパス

14号館2階  
D201 教室

お子様を連れて  
ご参加を希望される方は  
事務局にご相談下さい。

立教大学ジェンダーフォーラム  
20周年記念公開講演会  
ジェンダー視点で  
福祉社会を拓く  
私にとってのジェンダー研究  
私にとってのジェンダーフォーラム

1998年4月に立教大学ジェンダーフォーラムは設立されました。今年度で20周年を迎えます。「フォーラム」という名づけには「運動体のニュアンス」が込められており、ジェンダー平等の社会を実現するための活動拠点としての役割が強く期待されてきました。また、教職員がともに「フォーラム」立ち上げに関わったところに組織としての大きな特徴があり、ジェンダー問題に気づき、対処する力を持った学生を育てることも重要な課題となっていました。

あらためて人間らしく生きることのできる社会を切り拓くジェンダー視点とその実践とは何か。これからの20年、どういう活動拠点として立教大学ジェンダーフォーラムを社会に開いていくのか。ジェンダーフォーラムの初心を明らかにしながら、こうした問いに応えようという公開講演会です。

ゲストスピーカーには、ジェンダーフォーラム初代所長の庄司洋子先生、庄司先生とともにジェンダーフォーラムの立ち上げに関わり、現在は児童養護施設等を単立ち、進学した学生たちを支援するシェアハウスにも携わる元職員の松井明子さん、ジェンダーの視点で同時代の保育問題に斬り込んでいるジャーナリストの猪熊弘子さんの3人をお迎えします。

主催・お問い合わせ先 立教大学ジェンダーフォーラム

TEL/FAX: 03-3985-2307 E-mail: gender@rikkyo.ac.jp

http://www.rikkyo.ac.jp/research/institute/gender/

Gender Forum  
Rikkyo University